

6. 館内案内中国語部会活動報告

1 はじめに

(1) 活動方針

①中国語部会は館内案内部門において、中国人（中国・台湾）、日本人を中心に館内案内を担当しています。

館内案内においては、九州国立博物館の立場、歴史、設備、施設、展示物等を、出来るだけわかり易く来館者に説明しました。又、中国と日本の心と心の懸け橋になれるように努めています。これらにより中国と日本の民間レベル交流に貢献しました。

(2) 部会員数：2011年4月時点では14名（男性5名、女性9名）でしたが、現時点では下記のように7名になっています。

- ①2期生 1名（男性）
- ②3期生 6名（男性3名、女性3名）

2 部会について

(1) 館内案内の内容

①中国人、台湾人、日本人を対象に館内案内を実施しました（下記表参照）。

②日本と中国の関係悪化による中国人観光客の激減（昨年比30%減：日本政府観光局資料）、及び部会員の退会（7名減）につれ、下記グラフの様に案内回数等が減りつつあります。

4月からの第4期部員の参加を契機として、巻き返し予定です。

・お客様（日本人、中国人（台湾人含む））案内人員及び、案内回数

	H23年度		H24年度		H25年度	
	案内人数	案内回数	案内人数	案内回数	案内人数	案内回数
日本人	164名	19回	53名	22回	31名	13回
中国人	88名	17回	53人	12回	249人	6回
合計	252名	36回	106名	34回	280人	19回

・H23～H25年度：日本人・中国人（台湾人含む）への案内回数の遷移グラフ



(2) 案内活動状況

・お客様への館内施設案内



来館された中国人グループへの館内案内の風景

左の写真の様に中国人、日本人を1階の館内施設、4階の文化交流展示室へ案内。又、日本語部会のサポートを得ながらバックヤードツアーも案内しました。



留学生の日に来館した学生を案内している風景

九博主催の「留学生の日（11月3日）」のイベントに招待した県内の留学生をあじっばで、楽しみながら案内しました。

(3) 各種イベントへの参加内容

- ①九博子どもフェスタ参加・支援（子どもにわか・にわか反面つくり、ほか）
- ②ボランティア交流会、各研修会への参加・支援



館外研修会参加風景

左写真のように各種館外研修に参加し、研修・他部門との交流を実施。

(4) 中国人との交流会の主催・参加

①餃子パーティ（2012年6月開催）主催。“皮から作る餃子と中国粥を楽しむ会”



餃子パーティ風景

2012年6月17日に西鉄高宮駅近くのアミカス高宮にて中国人留学生、日本人ボランティアを60人程招いて餃子パーティを開催。

パーティでは餃子料理、中国語の歌、カラオケ、ダンス等にて和気あいあいになり、民間レベルにて中国人の方と良い絆を築くことが出来ました。

今後このようなパーティを継続する予定です。

(5) 各種案内資料の作成（日本語資料作成→中国語へ）

- ①中国語でご案内する時の案内資料（館内案内・各種展示品の解説資料）作成及び、案内資料CD化。
- ②4階文化交流展示室案内資料の作成、及びCD化。

(6) 活動内容について部員の感想

①中国語部会の全体について

- i 餃子パーティ等で楽しく交流しました。
- ii 途中にて7名が退会され、少し寂しくなりましたが、残った部員にて盛り返します。

②作成について

- i 自分たちで協力して、館内案内資料を中国語化。これを館内案内活動に流用。
案内資料としてはまだまだのレベルですが、各自練習して頑張りました。

③ 全体的な活動内容について

- i 仲間が増え、生活が楽しくなりました。
- ii 中国語以外に、中国の歴史や文化などにも興味が湧くようになりました。
- iii 中国語でのお客様とのふれあいで、中国がもっと好きになりました。
- iv 中国語での館内案内は緊張しますが、お客様の「謝謝！（ありがとう）」は何物にも代えられませんでした。
- v 部会内で外部中国人講師を雇い、太宰府館などを利用して中国語講座を開きました。

3 おわりに

- (1) 国際的な事情による中国人のお客様数激減と部員数減等にて、お客様への案内回数・案内人数等が減りました。又、3年間で館外研修が一度も出来ませんでした。
4期部員の参加を契機として巻き返す予定です。
- (2) バックヤードツアー案内資料、一部パワーポイント資料が中国語化がされていないので、今後中国語化を検討する予定です。
- (3) 部会活動にあたり関係者各位のご支援・ご指導に対して感謝致します。



部員一同の写真（2011年4月当時）